

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年8月23日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	中国語学科・専攻	3年次
派遣先大学	浙江大学(中国)		10ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど (ルームメイトが一人、ドイツ人、部屋数は1つ)
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (事務手続きをすまし、寮に行き寮母にデポジットを払い、カギを受け取る)
4	費用 (月額)	50000 (円) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	主に電子マネー (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (大学内にスーパー、コンビニ、カフェ、病院、床屋などがある。駅までは徒歩20分)
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (上海浦東空港からシャトルバスで3時間、約1600円)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して): (中国は衛生面で不安なところはあるが、友人などと相談すれば完結できる。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入してください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
12	詳細を教えてください	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ([REDACTED])

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (大学内でSIMカード購入)
4	自宅のインターネット接続環境	利用しなかった
5	大学内インターネット接続環境	使用しなかった

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	1100 (元) /月
2	食費	1500 (元) /月
3	交通費	500 (元) /月
4	通信費	150 (元) /月
5	娯楽費	500 (元) /月
6	図書費	100 (元) /合計
7	学用品（教科書など）	100 (元) /合計
8	被服費	500 (元) /合計
9	医療費	30 (元) /合計
10	雑費・その他	(通貨入力) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	200 (元) /合計
12	ビザ申請関連費	400 (元) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	75000 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	800000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：200000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：三井住友） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	窓口で用紙とパスポートを出して、30分程度で完了
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	中国は携帯で支払いが主流だが、最初は口座がないため、現金を多めに持っていくべき。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	D18 プラン (10 か月分で 80000 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けなかった
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	選択してください。 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	特になし

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの	金、パスポート、衣類、参考書、書類、パソコン、ティッシュ、シャンプー、石鹸
2	現地で購入したもの	SIMカード、日用品、
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていっていたら便利だと思ったもの	冬服、水筒

VI. 留学先で困ったこと

言葉、手続き、授業

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

語学に不安があっても、話さないと留学の意味はないから積極的に話すべき

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	中国語学科	3 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	浙江大学 (中国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	国際教育学院	履修言語	中国語	
留学期間	2018 年 9 月～2019 年 7 月			
報告書提出日	2019 年 8 月 28 日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週)	1 月 24 日 ～2 月 1 日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、……
秋冬学期	9 月 18 日 ～1 月 15 日 (18 週)	1 月 16 日 ～1 月 18 日	授業前に筆記、口頭テストが行われ、7 段階のクラスで構成されていて、1 が下で 7 が上のうちの、下から 5 番目に位置し、スケジュールが組まれました。
春夏学期	3 月 4 日 ～6 月 24 日 (16 週)	6 月 26 日 ～6 月 27 日	後期は、テストの実施はなく、6 級に上がり、授業が始まって、もしクラスを変えたい場合は、変更も可能でした。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。
		(内訳)	
【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は【⑥】【参考資料】授業時間数について
		1 (時間/回)	
		× 3(回/週)	

		× 10(週)	て]をご参照ください。
秋冬学期	中級漢語精読Ⅱ	90 時間 1.5 (時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	授業は毎回 90 分。内容としては、おもに教科書に沿って、文法と単語、文章の内容を授業中に問われる。週に一回単語の小テストがある。中間試験・期末試験の勉強としては、習った文法と単語の復習をする。
秋冬学期	中級漢語口語Ⅱ	45 時間 1.5(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	授業毎回 90 分。内容としては、授業中は先生と中国語で会話をし、教科書も比較的わかりやすい内容で会話文が多かったです。中間試験・期末試験は授業内でやったテーマや質問を先生と一対一でテストします。
秋冬学期	中級漢語閲読Ⅱ	45 時間 1.5 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	授業毎回 90 分。内容としては、精読と同じような文章があり、この授業は基本的に読解が必要になります。テストでも、授業でやった文章をしっかりと読めているかどうかの問題が出ます。
秋冬学期	中級漢語写作Ⅱ	22.5 時間 1.5(時間/回) × 1 (回/週) × 15 (週)	授業毎回 90 分。授業の内容は、作文の書き方と文法の使い方を学びました。毎週 400 字の作文課題が出されます。中間試験・期末試験は授業でやったテーマの中で、自分の体験などを含ませながら、文章を構成するという内容でした。
春夏学期	高級漢語精読Ⅰ	90 時間 1.5 (時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	授業は毎回 90 分。授業内容は、前学期と変わらないのですが、レベルが上がり、先生の出す課題なども難しくなってきました。中間試験・期末試験は文法と単語の他に、一つのテーマについて意見を書くというのがありました。
春夏学期	高級漢語閲読Ⅰ	45 時間 1.5(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	授業は毎回 90 分。授業内容は、前期と変わらず、読解が必要になる授業で、後期はレベルが上がり、教科書とは別の文章を先生が持ってきて、10 分以内に読み切るというような内容でした。中間試験・期末試験は前期と同様の形式でした。
春夏学期	高級漢語口語Ⅰ	45 時間 1.5 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	授業は毎回 90 分。授業内容は前期と変わらない内容でしたが、教科書などの勉強に加えて、週に一回プレゼンテーションをすることがありました。それについてのテーマは自由です。中間試験・期末試験は前期と同様に一対一の形式のテストでした。
春夏学期	高級漢語写作	22.5 時間	授業は毎回 90 分。授業内容は前期と変わらない内容でした

	I	1.5 (時間/回) × 1 (回/週) × 15 (週)	が、課題が 400 字から 600 字に増え、文法もより高度なものを を使うような難しい内容でした。中間試験・期末試験は前期 と同様です。
--	---	-------------------------------------	---

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

授業は基本的に半日で終わることがほとんどだったので、授業終わりに部屋やカフェに行って、友達とわからないところを聞きあったりして復習していました。予習はあまりできなかつたのですが、一番授業数が多く、内容が比較的難しい精読に関しては、次の章を先に読んでおくなどはしていました。授業は教科書以外のことを質問されたり、文化や歴史などについても聞かれたりしたので、普段からわからない単語や文法は放置せず、辞書を使って理解するようにしていました。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

留学前と留学後の語学力は明らかに違いがありました。留学前は HSK4 級だったのが、留学後は HSK6 級を取得し、スピーキングも格段に上がりました。それはおそらく、普段から外国人と中国語で話したり、中国人と交流をしたり、あとは週に一回ある討論会に参加したりしたことが主要因です。僕の大学ではサークルなどに参加できる機会がなかったので、中国人と関わる機会は多くなかったのですが、生活のなかで沢山関わる事ができたことが、中国語の成長に繋がったと思います。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

学修では、はじめのころは授業についていくことも難しい状態で、先生からも少し聞き取りと話すことにまだ慣れてないといわれました。でも、自分に質問するときはわかりやすく話してくれたり、できるだけ、話す機会を増やしてくれたりして、とても語学力の手助けになりました。また、授業や日常で覚えた単語は必ず会話の中でも使うようにして、忘れないようにすることが、スピーキング力を上げるコツだと思います。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

学習面での主な反省点は授業のレベルと自分のレベルが合っていなかったことです。最初の筆記テストと口語テストでは中国語学科と中国に滞在していたというというだけ、高いレベルに配置されてしまって、授業内でも先生の言っていることが聞き取れないことは多かったので、最初の時点で先生と相談して、レベルを調節したほうがよかったですと思いました。

これから中国に留学に行く方は、中国に行くと教科書で習ったことないようなことや日常的に使う言葉を覚えることが増えていくと思うので、緊張せずに積極的に覚えていくことが成長につながると思う。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

留学生活では日本で生活しては得られないことが多かったです。まずは文化の違いを理解する力。留学生活ではルームメイトや周りの友達はみんな外国人なので、文化の違いに戸惑いやショックが沢山ありました。でもそのままにしていると、せっかく留学に来て、留学生と仲良くなれないのは嫌だったので、何度も話し合っ、仲直りできるようにしました。あと、環境への適応力です。中国は衛生面やサービス面で問題があるので、そこにストレスがかかることはありましたが、自分も友達も徐々に慣れていきました。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

留學生活の主な反省点は日々何か新たに経験できる活動や体験に挑戦しなかったことです。授業や友達の紹介で外国人の友達は沢山できましたが、日々何かに取り組むということがなかったのが反省点です。普段の生活は最初食事の時油が多くて、体の調子もあまりよくなかったのですが、外国人の友達などと食事をどのようにしているか話し合っ、解決していきました。

勉強面ではテストの点数が全然取れなくて、先生にも相談したりして、対策しましたが、最後のテストも思うようにとれなかったのが、それは今後の勉強にも生かしていきたいと思いました。

もしこれから留學行く人がいれば、早めに準備をして、下調べをして、万全の準備でいかないと、後で必要なものがあるとき、間に合わなかったりするの、気を付けたほうがいいと思います。あとは、環境の適応で最初は戸惑うことがあると思いますが、それも友達や時間とともに慣れていくものなので、最初は焦らずに生活していくほうがいいと思います。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留學修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。